

未来のモノづくり

～この研究がやばい！4つの「生の話題」～

日本のモノづくりやシステムづくり、そのあり方はこれでいいのでしょうか？

6月のリアルツアーin東北大学では、5月の東京開催で作ったネットワークをより深く、強く結びます。

この技術をもっと知りたい、あの時のアイデアをもっと議論したい、その気持ちに応えます。

各研究室の見学ツアー、実験結果の解説など、学内ならではのリアルな体験と意外な気づきをお届けします。

「モノづくりのこれから」や、それらを取り巻く周辺環境の進化に関心のある皆様の

引き続きのご参加をお待ちしております。6月のみのご参加も可能です。

●プログラム●

10:30 開会

10:35 研究室ツアー

12:00 昼食（お弁当）

13:00 研究室ツアー・技術の解説等。

※自分の目で実験プロセスや解説に触れることで

意外な接点や連携が生まれるかも？

16:20 グループ討論

16:55 講評

17:00 閉会・名刺交換会

17:15 ポスター懇親会@学内

※参加者からの自社紹介も可（任意）。

2023.6.23 Fri.

10:30-17:00

宮城県仙台市
東北大学
片平・青葉山キャンパス

●話題提供者のご紹介●



材料科学高等研究所 教授 安東 弘泰

博士（情報理工学）。専門はAI。最近の関心はAIの学習にかかる時間とデータを減らしても質が下がらない新しい高速AI技術。ファクトリーオートメーションへの応用にも関心あり。提供する話題は「流行りの対話型生成AIの対岸は？」

グリーン未来創造機構 教授 水谷 正義

博士（工学）。イベントでは、付加価値をつける加工学研究と製造プロセスDXのビジョンを御紹介します。様々な視点、現場の意見、困り事を聞かせてください。一緒に世界に負けない日本のモノづくりの新しい付加価値を作り出しましょう。提供話題「製造DXの本質は加工現象にあり ～その製品に生き物の進化を加えると？～」



多元物質科学研究所 助教 丸岡 伸洋

博士（工学）。カーボンニュートラル社会実現には熱エネルギーの有効利用技術は重要です。今回、これまで熱交換を諦めていた場所、効率良く熱交換できなかった場所からの高効率な熱交換が出来る可能性のある技術をご紹介します。是非色々なプロセスや課題を教えてください。

多元物質科学研究所 助教 石原 真吾

博士（学術）。粉は、わたしたちの身の回りに溢れています。粉に関わるプロセスを理解し、効率化・高度化するためにシミュレーションを活用する方法、得られた「数値化」と「見える化」データを活用した装置開発やプロセス最適化の民間との共同実施事例をご紹介します。KONA2023 と題して話題を提供します。



申込方法：下記よりお申込み下さい【6/12日】（参加費：12,000円、懇親会費別途）

<https://forms.gle/YFPLuecrjQnJ2xwSA>



※本イベントは5月・6月連続開催です。5月（5月26日）は話題提供とネットワーキング、6月は技術の深堀と連携検討のプログラムです。各回のみ参加も可能ですが、是非連続参加をご検討下さい。

主催：東北大学（産学連携機構、産学連携先端材料研究開発センター）、一般社団法人事業開発経営協会
協力：ARCH Toranomon Hills Incubation Center、日経BP 総合研究所